

平成 29 年度第 1 回銚子市男女共同参画計画推進委員会会議概要

- 【開催日時】 平成 29 年 9 月 1 日（金）14 時 10 分から 15 時 45 分まで
- 【開催場所】 銚子市勤労コミュニティセンター2 階ホール
- 【出席者】 橘委員、飯田委員、木村委員、鎬木委員、佐野委員、宮内委員
工藤委員、伊藤委員、鶴野委員、藤元委員、竹内委員
大日方委員、金尾委員、高橋委員（14 名全員出席）
- （事務局） 宮澤政策企画部長、企画課 伊藤課長、飯森課長補佐、額賀副主査

【概要】

14 時からの委嘱状交付式、市長あいさつ、職員・委員自己紹介に引き続き会議を開催（正副委員長選出）

委員の互選により、委員長 鎬木 正 委員・副委員長 高橋 浪江 委員に決定

【議事】

（1）銚子市男女共同参画計画（第 2 次）取組状況について

銚子市男女共同参画計画（第 2 次）に登載されている施策について、資料 2 を中心に、事務局から説明

（委員） 今後について、本市には大学があるので例えば講座・講演会の開催等については学生も多数いるので協力できるのではないかと。

また、セレクト市場にある『エクステンションセンター』等の活用についても検討してみてもどうか。

質問としては、現時点で、今年度の取組状況はどうか。

（事務局） 昨年度取り組めなかった施策については、今年度が第 2 次計画の最終年度となることから、目標値をクリアできるよう担当課へ呼びかけを行う。

講座・講演会の開催については、不特定の人を集めて啓発することに限界を感じている。今年度は、市内の事業所にお声掛けし、女性の活躍を促進するための意見交換会等を実施予定であり、それを講座の開催に置き換える形としたい。

（委員） 銚子市役所における女性管理職の割合が報告されたが、実際管理職は何人いるのか。また、平成 29 年度になって女性管理職は増えたのか。

（事務局） 平成 28 年 4 月 1 日現在の女性管理職の人数は、課長職が 4 名、課長補佐職が 16 名となっていたが、定年退職等により平成 29 年 4 月 1 日現在は、課長職が 3 名、課長補佐職が 12 名と昨年度より減少している。

(委員) 「子育てサポート企業」として厚生労働省から『くるみん』『プラチナくるみん』の認定を受けている事業所は市内にあるのか。

(事務局) 市内の事業所ではヒゲタ醤油(株)がプラチナくるみんの認定を受けており、イオンモール(株)も同様に認定を受けている。

(2) 意識調査結果について

昨年度実施した、「市民意識調査」と併せて実施した「男女共同参画社会づくりのための調査」の結果について事務局から説明

(委員) 今回(H28)の調査と前回(H23)の調査では、対象人数や対象年齢等が全く異なるため、単に比較対象とすることに疑問を感じる。

(事務局) 前回の調査は、男女共同参画に関する意識を単独で調査したのに対し、今回は市民意識調査と併せて実施したため、対象人数や年齢が異なってしまった。今後は、計画にもあるように定期的に意識調査を実施し、同じ調査対象で実施できるように努力したい。

(3) (仮称) 銚子市男女共同参画計画(第3次)策定方針及び予定について

計画策定の経過、計画見直しの考え方、市民意向の反映、今後のスケジュールについて事務局から説明

(委員) 第2回、第3回の委員会開催前には、現在の第2次の計画にプラスαした形の第3次の計画案を事務局が作成し提示してくれるのか。

(事務局) たたき台になるようなものを事務局で作成させていただき、委員の皆様にご内容について審議いただくことになる。

(委員) 計画の概要版などはどのようなところへ配布するのか。一般の方が目にするようなことはあるのか。

(事務局) 第2次の計画を策定した際には、周知のために市内の公共施設等に配置した。市民の目に届くようラックなどに配置したがなかなか手に取っていただけない現状がある。そのほか啓発事業の際に配付したり、県内の市町村へも配付した。

(委員) 市民意向の反映について、市民意識調査の結果だけを見ると市内の年齢構成上、高齢者の方のウエイトが大きくなる。これから働いたり、子育てしたり親の介護をする年代の意見を取り入れることで、これからの担っていく方々のための施策につながっていくと思う。

(事務局) いろいろな場で、特に若年層の方々の意見を聞けるよう努力し、計画の策定に活かしていきたい。

(委員) 30代から40代の女性農業者グループとの交流の際に、放課後児童クラブが不足しているとの意見を伺っている。居住している地区に放課後児童クラブがないので、あえてクラブがある地区の小学校へ入学させているケースも見受けられる。単に子供の数だけで判断するのではなく、ニーズを調査して反映させていただきたい。

(事務局) 放課後児童クラブの充実について、第3次の計画に反映できるよう担当課に対し今のご意見を報告させていただく。

(委員) 市民意識調査の結果として、高齢者の回答率が高いが、実際に調査票を発送した対象者はどうだったのか。

(事務局) 住民基本台帳からの無作為抽出で、対象者は地区別、年齢別の比率で按分して抽出しているため、調査票の発送時から高齢者の割合は高くなっていると思う。

(委員) 市民意識の把握として、子育て広場等での意見聴取となっているが、子育て広場を利用しているお母さんは専業主婦が多いため、保育園等の働くお母さんからも意見聴取をするなど幅広く実施して欲しい。

(事務局) 専業主婦で子育て中のお母さん方には子育て広場で、働くお母さん方には11月に予定している意見交換会で広く意見を伺えればと考えている。

(委員) これから策定する第3次の計画について、イメージリーダーとして『ちょーぴー』をPRに活用するなど検討してみてもどうか。

(事務局) 検討させていただく。

【その他】

- ・アドバイザーの設置について：全会一致で了承
- ・次回会議について：10月下旬から11月上旬で予定
- ・DV相談カード及びステッカーの紹介及び各事業所へ貼付依頼

以上